

家庭学習のすすめ

大田区教育委員会指導課

教育基本法には、家庭教育について次のような条文が示されています。

第十条 父母その他保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

2 国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

また同十三条では、「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力に努める」ことの重要性についても記されています。



そもそも、家庭学習はなぜ大切なのでしょう。

1 学習内容の定着のために

基本的な学習内容を確実に身に付けるには、繰り返しの学習が大切です。学校の授業で学んできたことをそこで終わりとしせず、家庭で復習をしたり身に付くまで何度も学習したりすることなどを通して定着を図ることがとても重要です。

2 学習の習慣化のために

子どもには自律的でメリハリのある生活を送れるようになってほしいと願っている保護者の方は多いと思います。身の回りにはテレビやゲーム、スマートフォンなど、子どもたちの生活を不安定にしがちなものも多いですが、一定の時間は集中して学習に取り組んだり、体を動かしたりできることが望ましいです。生活の中に、当たり前学習の時間を位置付けることで、家庭における学習も生活も安定したものになることが期待できます。

3 自立・主体的な学びの充実のために

学力や興味・関心、得意なこと・苦手なことは、一人一人違います。宿題のように一律の課題に取り組むだけでなく、それぞれのニーズに応じた多様な学習の仕方があってもよいはず。いわゆる「自主学習」に取り組ませている学校も多くなってきています。学習カルテなども参考にしながら主体的に学習に取り組むことで、苦手なことの克服や得意なことの伸長を図ることはもちろん、学びの新たな可能性を広げることもつながります。

令和4年度全国学力・学習状況調査における質問

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）」（小6 全国）の結果は、右表のとおりです。

家庭学習に継続して取り組ませることの難しさを感じます。

よくしている	27.7%
ときどきしている	43.6%
あまりしていない	21.3%
全くしていない	7.3%

○ タブレット端末を活用した家庭学習も...

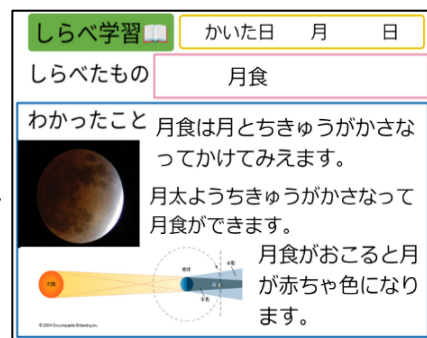
大田区立小中学校では、タブレット端末を活用した多様な学習活動が進められています。子どもたちの活用スキルも大きく向上しています。

家庭学習においても、タブレット端末を上手に活用することは、学びの自主性や多様性を尊重するとともに、子どもたちが身に付けたスキルを生かして、これまでとは違った新たな取組を行うことができる可能性もあります。

1 家庭学習の取組例

(1) ドリル学習（基本的な学習内容の定着）

まなびポケットには、ドリルアプリが入っており、自主的な学習に取り組むことができる問題が豊富にあります。学校で学習したことの復習やちょっとした予習にも活用できます。自分で採点もできます。またデジタル教科書があれば、教科書を家庭に持ち帰らなくても、振り返りなどができます。



調べ学習の取組例「月食」

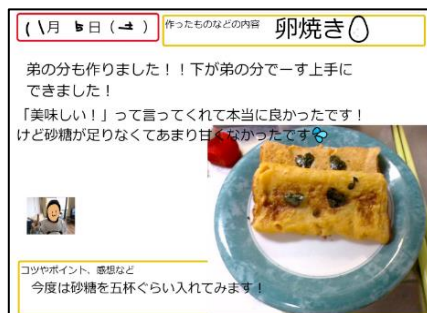
(2) 調べ学習（興味・関心に基づく学習、授業の発展的な学習）

まなびポケットの百科事典アプリや、インターネットなどを利用し、授業で疑問に感じたことを追究したり、興味・関心のある内容を探究したりすることができます。ちょっとした自由研究のような取組になります。

(3) 実技学習（体験的・実践的な学習の記録）

料理、工作、なわとび、お手伝いなど、家庭で実際に取り組んだことなどを、記録としてまとめて保存することができます。

端末のカメラ機能を使って、取り組んでいる様子やできあがった作品などを撮影するのも、よい方法です。



実技学習の取組例「卵料理」

(4) その他

読書記録、日記、タイピング検定など、アイデア次第で様々な取組に挑戦することができそうです。

2 タブレット端末を活用することのよさや課題を踏まえて

タブレット端末の活用には、インターネットが利用できること、レイアウトが工夫しやすいこと、取り組んだ内容をデータとして保存できること、先生や友達との共有ができることなどのよさがあります。これらのよさを生かすことで、家庭学習にも新たな可能性が広がります。

その反面、課題もあります。

学校で貸し出すタブレット端末は、学習のための道具です。ルールにしたがって正しく活用しなければなりません。学校で示されている約束をよく確かめて、適切に使うことが必要です。

また子どもたちの健康への配慮は、最重要課題です。長時間の使用、夜遅くの使用などは、成長期の子どもたちにとっては、望ましいことではありません。子どもの自主性を尊重しつつ、心身の健康保持については大人の見守りや助言が大切です。御家庭での御指導や見守りについて御協力をお願いいたします。

